



食のプラットフォーム構築プロジェクト

小ロットの商品開発とテストマーケティングを実施する体制により 新商品開発を促進

生産物配送ルートを確立し、地元野菜を使った新商品を開発 地場野菜を届け、地産地消の魅力を伝えるプロモーションを展開

従来の課題

都市型農業である川崎市には、農地の地域的な偏りや販売農家 数の減少などの課題があります。また、農業者は採れ過ぎた野 菜の販路や不揃いの野菜の利活用に悩みを抱えています。

川崎市では、若手農業経営者の育成や「かわさきそだち」ブラ ンド野菜の市内普及イベントなど農業振興施策にも積極的で す。また、過去には市内企業間の農商工連携で「かわさきハー ブソーセージ」、企業と農業者が連携した南武線活性化プロ ジェクトで「多摩川梨ジャムのパウンドケーキ」や「のらぼう菜 うどん」など、市民に好評を得た商品が生み出された実績があ ります。

こういった背景や実績を踏まえながら、川崎市内産農作物を 活用した商品開発と普及をさらに促進するため、今回連携し た事業者間で、(1)「川崎の南北を縦断する安定的な物流」と、 (2) 「中小地元事業者による自社商品の販路開拓」、(3) 「小 ロットの商品開発とテストマーケティング の3点を解決すべき共 通課題として取り上げました。

Approach

市内の安定的かつ循環型の物流を築き上げることが必須であ ると考え、地産地消に向けた物流の構築に取り組んできたベン チャー企業「やさいバス」の活動をベースに、生産者目線で消費 者まで直結するルートを構築しました。具体的には、やさいバス の既存ルートに木下 農園(麻生区)のバス 停を設置し、北部の農 作物の集積場となっ てもらいました。

運ばれた地元産の農

作物を使った商品開



TABI-MICHIフェス 白動販売機による 当日の様子 「川崎イイモノ直売所」

発のため、美遊JAPAN内に小ロットの商品開発に適した機械設 備などテストマーケティングのための開発拠点を設置し、肉小僧 (川崎区・幸区)の青唐辛子味噌の開発と、しんぼりファーム(幸 区)のトマトジャムの製造などを請け負っています。

開発した加工品を消費者に届けるために地元企業や川崎市内 生産者とコラボした販売イベント(移動式マルシェ・TABI-MICHI フェス)を開催しました。さらに、加工品や名産品を自販機向け にパッケージして販売する「川崎イイモノ直売所」を川崎地下街 アゼリアの中央広場に設置するなど、新しい販路開拓の試みに 挑戦しています。

Effect

生産地である北部地区・中部地区と、消費地ではあるものの川 崎市内産農作物が出回らない南部地区との間で、やさいバス を通じた流通手段が構築されることにより、地元野菜の入手が従 来に比べ容易になり、生産者と需要者の双方に意義のある仕組み を構築することができました。

また、小ロットでの商品開発が可能な拠点を設けることで、新 商品開発のハードルが一段と下がり、ふぞろいや採れ過ぎた 野菜の消費問題の解決や、新たな魅力をもつ商品の創造と地 産地消の推進にもつながります。

販路については、自動販売機やJR構内の催事、アゼリアのアン テナショップでの販売を選択的に活用することにより、トライ アルしやすい環境が整いました。

さらなる展開として、自動販売機「川崎イイモノ直売所」の2号 機が麻生郵便局敷地内に設置されました(令和4年12月)。地 域の名産品を集めた自販機の設置は神奈川県内の郵便局で初 となる取組で、複数の事業者が連携して販売を行っています。



地場産野菜「ドライベジタブル」

●玉ねぎ(イーストファーム) 麻生区

●湘南レッド(森正養鶏場) ●みょうが(藤田ファーム) 宮前区

●トマト(シンボリファーム) 幸区

●ピーマン他(木下農園) 麻生区 宮前区

●ミニトマト(矢澤農園)

市内に6店舗を有する老舗ドラッグストアからの委託で 地域連携の新商品を開発

本事業を通じて構築した流通ルートは、やさいバスの 停留所を増設することで市内に留まらず、広域的な ネットワークとして確立することが可能であり、生産 量、消費量、個々のニーズを把握し、適正なルートを状 況に応じて柔軟に調整していくことで事業の拡大が 見込めると考えております。

販路開拓についても鉄道路線の市外駅に自販機(JII 崎イイモノ直売所)の設置を増やすことで、市外への 川崎産の特産物の販売も見込め、市内中小事業者に とっては新たな顧客開拓、商品認知のツールとして大 きな可能性があります。

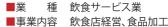
TABI-MICHIフェスでは、地元活動団体の皆様とともに 取り組んだおかげで、初回ながら1,500人規模のイベン トを開催することができました。今後も協力してイベン トを開催することで、川崎の地元企業の魅力発信、農 作物の地産地消推進、それらを使った加工品の販売促 進の側面から継続的な活動が見込まれます。

新たな物流網の構築により、地元の新鮮野菜を今までよりも安価 に安定した形で消費者に提供できるようになりました。 今回新たに自販機向けの商品を開発しましたが、思っていたより も販売実績が上がっています(自動販売機事業参加事業者)。

参加企業一覧

美遊JAPAN有限会社

https://www.mivu-iapan.com/



共創担当 岩篤

■所 在 地 川崎市川崎区大川町9-2 大川町産業会館1F

やさいバス株式会社

種 集配利用運送業

■事業内容 生鮮流通プラットフォーム「やさいバス」の 運営、食品卸業、地域事業コンサルティング

■代表 者 代表取締役社長 加藤百合子

■所 在 地 静岡県牧之原市布引原1076-2

有限会社グリーンフーズあつみ・おつけもの慶 https://gf-a.jp/

種 食品製造業、飲食料品卸売業、飲食料品小売業 青果物卸・販売、漬物(キムチ類)製造・販売

■代表者 代表取締役 渥美和幸

■所 在 地 川崎市川崎区大島3-35-7

株式会社JR東日本クロスステーション https://www.jr-cross.co.jp/

種 運輸業

■事業内容 小売業 卸売業 製造、加工業 輸出入業 広告

事業、宣伝の請負及び代理業等 ■代表 者 代表取締役社長 西野史尚

■所 在 地 東京都渋谷区千駄ヶ谷5-33-8 サウスゲート新宿ビル6F

https://www.instagram.com/kinoshitanouen

■業 種

■事業内容 農業生産

■代表者 園主 木下順一

■所 在 地 川崎市麻生区高石1-7-34

合同会社わざあり

https://wazaari.co.jp/

種 製造業

■事業内容 フレーバーオリーブオイルの製造販売

■代表者 代表 石井正一

■所 在 地 神奈川県相模原市南区南台5-1-1

ペッパー・レボリューション・カンパニー合同会社 https://www.peprevco.com/

種 農業、林業

■事業内容 新品種トウガラシに関する育成者権の使用 許諾料取得事業

■代表者代表三原隆一

■所 在 地 東京都町田市中町3-1-5



′ひらめきポイント・経営者の気づき

市内の流通、販路の新たなスキームが確立することは、 新たな商品開発のハードルをさげることにもつながり、地 域から新たな商品の創出という好循環が期待できると考 えています。

本事業によって、連鎖的に市内の農作物とその加工品な どの新たな取引が生まれ、新たな事業者の参入と商品 開発の活発化、川崎市内産農作物の知名度向上が期待 でき、一般消費者にとっても、市内産品が入手しやすくな ることで、地域経済の活性化に結びつくものと考えており

今後も引き続き、市内産農作物を活用した商品開発と普 及を促進するための事業に取り組んで参ります。































27